

## 広島県新型インフルエンザ等対策行動計画（案）に対する県民意見募集の結果

広島県新型インフルエンザ対策行動計画(案)に関する県民意見募集に御協力いただき、ありがとうございました。

寄せられた御意見の内容と、御意見に対する県の考え方は次のとおりです。

### 1 意見募集の期間及び結果

期 間	平成25年9月30日（月）～10月11日（金）
意見をいただいた方	3名
提出方法	電子申請2件，郵送1件

### 2 意見の内容と県の考え方

寄せられた意見の内容	意見に対する県の考え方
広島県新型インフルエンザ等対策行動計画（案）に直接かかわることではありませんが、インフルエンザ予防対策として口腔ケアが有効であることが最近の研究で明らかとなりつつあります。今後の施策に活かしていただきたいと思えます。	気道感染や肺炎予防など重症化予防対策としての口腔ケアの重要性は認識しておりますので、個別の施策に活かしていきます。
<b>【特に予防・蔓延防止対策について】</b> 新型インフルエンザ等対策行動計画に禁煙推進と受動喫煙防止対策が不可欠です  1. インフルエンザのみならず、呼吸器感染症全般（上気道炎、肺炎、結核、季節性インフルエンザを含む）の罹患・重症化の予防、及び死亡リスク対策として「タバコ対策=禁煙推進、受動喫煙の危害防止」が重要ですが、新型インフルエンザ対策行動計画にこの「タバコ対策=禁煙推進、受動喫煙の危害防止」を基本対策として盛り込むことが不可欠です。  2. 新型インフルエンザのパンデミックの予防・蔓延防止に備えて県民市民に禁煙を促し、受動喫煙の危害防止対策を推進すること、取り分け「受動喫煙防止条例」の早期制定を連動させて、禁煙推進と受	喫煙による健康への影響は、多岐にわたることから、本県では、広島県健康増進計画「健康ひろしま21」において、総合的に取り組むこととしております。

動喫煙の危害防止の徹底遵守・周知が必要です。

・インフルエンザと喫煙の関係は、喫煙者は非喫煙者の 2.42 倍インフルエンザに罹患しやすく、罹患すると重症になることが確かめられています。(喫煙者は非喫煙者の 2.42 倍インフルエンザに罹患し、症状が重くなる確率は、非喫煙者 30%、ヘビースモーカー54%、インフルエンザ患者の 31%は喫煙がなければ発病しなかった。Lidia et al. Cigarette Smoking and Infection. Arch Intern Med. 2004;164:2206-2216)

・またインフルエンザの死亡のリスク要因は動脈硬化を主とする心血管系疾患、糖尿病、呼吸器系疾患などであり、かつ喫煙及び受動喫煙は、これら疾患の予防可能なリスク要因です。(これらは喫煙で2～10 倍増える)

・従って、新型インフルエンザの罹患・重症化・死亡リスクを減らすためには、生活習慣病対策、とりわけ禁煙・受動喫煙防止推進が最も重要な対策のひとつです。新型インフルエンザ対策としてタバコ対策は非常に有効なので、これらの対策を行動計画に盛り込むべきです。

**【参考資料】**

新型インフルエンザ流行に際して喫煙対策に関する緊急声明 日本禁煙学会

<http://www.nosmoke55.jp/action/0905influ.html>

<p>【(4)予防・まん延防止】</p> <p>禁煙の推進 (主要な理由)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●喫煙者は非喫煙者の 2.42 倍インフルエンザに罹患する</li><li>●症状が重くなる確率は、非喫煙者 30%、ヘビースモーカー54%</li><li>●インフルエンザ患者の 31%は喫煙がなければ発病しなかった</li></ul> <p>Lidia et al. Cigarette Smoking and Infection. Arch Intern Med. 2004;164:2206-2216</p>	<p>喫煙による健康への影響は、多岐にわたることから、本県では、広島県健康増進計画「健康ひろしま21」において、総合的に取り組むこととしております。</p>
--	--